

# 救助隊の現況

# 消防本部の規模等の状況

(平成27年4月1日現在)

## 全国の消防本部数 …… 750本部

### 【職員数】

・ 50人以下	80本部
・ 51人 ~ 100人	219本部
・ 101人 ~ 200人	248本部
・ 201人 ~ 300人	96本部
・ 301人 ~ 500人	72本部
・ 501人 ~ 1000人	22本部
・ 1001人以上	13本部

※職員数200人以下の消防本部が全体の72.9%を占める。

### 【保有救助隊の種別】

・ 救助隊なし	21本部
・ 救助隊	729本部
・ 特別救助隊	318本部
・ 高度救助隊	99本部
・ 特別高度救助隊	21本部

※特別救助隊以上を保有しない消防本部が全体の57.6%を占める。

※特別・高度・特別高度救助隊は、救助隊の内数表示となります。

# 救助隊の編成

種類・配置	隊員教育・編成	保有車両	主な保有救助資機材	整備市町村
救助隊(省令第3条)	人命の救助に関する専門的な教育を受けた隊員5人以上で編成	救助工作車 (又はその他の消防用自動車)	○一般救助用器具等 空気呼吸器、エンジンカッター、救命策発射銃 等 ○山岳救助用器具(地域実情に応じて備えるもの。) 登山靴、アイゼン、ピッケル、携帯用投光器、バスケット担架	消防本部がある市町村
特別救助隊(省令第4条)	同上	救助工作車	<u>上記資機材に加えて</u> ○一般救助資機材等 大型油圧スプレッダー、マット型空気ジャッキ、削岩機 ○検知測定器具 有毒ガス測定器	人口10万以上の市町村等
高度救助隊(省令第5条)	人命の救助に関する専門的かつ高度な教育(NBC災害対応含む。)を受けた隊員5人以上で編成	救助工作車	<u>上記資機材に加えて</u> ○高度救助用器具 画像探索機、地震警報器 等 +地域により △携帯用化学剤検知器 △携帯用生物剤検知器	・特別区、指定都市、中核市、消防庁長官指定市町村
特別高度救助隊(省令第6条)	同上	・救助工作車 ・特殊災害対応自動車(陽圧式等) +地域により △大型除染システム車 △ウォーターカッター車 △大型ブローカー車	<u>上記資機材に加えて</u> ○高度救助用器具 電磁波探査装置、二酸化炭素探査装置、水中探査装置、 +地域により △検知型遠隔探査装置(ロボット)	特別区及び指定都市

# 救助隊の資機材 ①

平成27年4月1日現在の救助活動体制

救助隊数 1,387隊(専任 537隊、兼任 850隊)

うち一般の救助隊 774隊、特別救助隊 613隊 (高度救助隊及び特別高度救助隊含む。)

救助隊員数 23,639人(専任 8,193人、兼任 15,446人)

## 救助隊

○救助隊(消防署ごとに整備)

救助用ロープ、エンジンカッター、三連はしご、空気呼吸器など一般的な装備及び当該装備を積載することができる消防用自動車をもつ救助部隊。

エンジンカッター



三連はしご



空気呼吸器



救命索発射銃



携帯用コンクリート破壊器具



簡易画像探索機



## 特別救助隊

○特別救助隊(人口10万以上の都市などに整備)

救助隊の一般的な装備に加え、マット型空気ジャッキや陽圧式化学防護服などの特別な装備並びに救助工作車を有し、人命の救助に関する専門的な教育を受けた隊員で編成された救助隊。

大型油圧スプレッダー



マット型空気ジャッキ



陽圧型化学防護服



放射線防護服



除染シャワー



救助工作車



## 救助隊の資機材 ②

### 高度救助隊

○高度救助隊(中核市 などに整備)

特別救助隊の装備に加え、画像探索機、熱画像直視装置、地震警報器などの高度な装備及び当該装備を積載できる救助工作車を有し、人命の救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員で編成された救助隊。

画像探索機



熱画像直視装置



地震警報器



### 特別高度救助隊

○ 特別高度救助隊(東京消防庁及び政令市に整備)

高度救助隊の装備に加え、特殊災害(NBC)対応自動車、ウォーターカッター、大型ブローアなど特殊な災害に対応できる強力な装備を有し、人命の救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員で編成された救助部隊。

特殊災害対応自動車



ウォーターカッター  
装置搭載車



大型ブローア  
装置搭載車



電磁波探査装置



水中探査装置



特別高度工作車





## 山岳救助隊の資機材 ③

### 山岳救助隊(兼任隊のみ)

#### ○山岳救助隊

山岳救助事案の発生時のみ、山岳救助活動に従事し、通常は、消防隊・救助隊等として活動する部隊。救助省令別表1において、地域の実情の応じて備えるものとして規定されている登山器具一式(登山靴、アイゼン、ピッケル、携帯用投光器、)及びバスケット担架を有する。その他、各本部ごとに必要に応じて資機材を配備している。

登山靴



アイゼン



ピッケル



携帯用投光器



バスケット担架



#### ○平成27年度 御嶽山噴火災害を踏まえ全国32消防本部へ配備予定の火山対応型山岳救助資機材

火山性ガス検知器



防毒マスク



軽量救助担架



ストック



ゾンデ棒



スコップ(大、小)



スパッツ



バックパック



救助省令で規定されている救助隊別保有資機材一覧

別表1(一般・特別・高度・特別高度救助隊 対象)

	資機材名	一般	特別	高度	特高
一般救助器具	かぎ付はしご	○	○	○	○
	三連ばしご	○	○	○	○
	金属製折り畳みはしご 又はワイヤはしご	○	○	○	○
	空気式救助マット	○	○	○	○
	救命索発射銃	○	○	○	○
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	○	○	○	○
	平担架	○	○	○	○
	ロープ	○	○	○	○
	カラビナ	○	○	○	○
	滑車	○	○	○	○
重量物排除器具	油圧ジャッキ	○	○	○	○
	油圧スプレッダー	○	○	○	○
	可搬ウィンチ	○	○	○	○
	ワイヤーロープ	○	○	○	○
	マンホール救助器具	○	○	○	○
	救助用簡易起重機	△	△	△	△
切断器具	油圧切断機	○	○	○	○
	エンジンカッター	○	○	○	○
	ガス溶断器	○	○	○	○
	チェーンソー	○	○	○	○
	鉄線カッター	○	○	○	○
破壊用器具	万能斧	○	○	○	○
	ハンマー	○	○	○	○
	携帯用コンクリート破壊器具	○	○	○	○
検知測定用器具	生物剤検知器	△	△	△	○
	化学剤検知器	△	△	△	○
	可燃性ガス測定器	○	○	○	○
	有毒ガス測定器	△	○	○	○
	酸素濃度測定器	△	○	○	○
	放射線測定器	△	○	○	○
器具 呼吸用	空気呼吸器	○	○	○	○
	空気補充用ポンプ	△	△	△	△
隊員保護用器具	皮手袋	○	○	○	○
	耐電手袋	○	○	○	○
	安全帯	○	○	○	○
	防塵めがね	○	○	○	○
	携帯警報器	○	○	○	○
	防毒マスク	○	○	○	○
	化学防護服(陽圧式以外)	△	○	○	○
	陽圧式化学防護服	△	○	○	○
	耐熱服	△	△	△	△
	放射線防護服・個人用線量計	△	○	○	○
器具 検索用	簡易画像探索機	△	○	○	○
器具 除染用	除染シャワー	△	○	○	○
	除染剤散布器	△	○	○	○
水難救助用器具	潜水器具一式	△	△	△	△
	潜水救助器具一式	△	△	△	△
	救命胴衣	△	△	△	△
	水中投光器	△	△	△	△
	救命浮標	△	△	△	△
	浮標	△	△	△	△
	救命ボート	△	△	△	△
	船外機	△	△	△	△
	水中スクーター	△	△	△	△
	水中無線機	△	△	△	△
	水中時計	△	△	△	△
	水中テレビカメラ	△	△	△	△

	資機材名	一般	特別	高度	特高
山岳救助用器具	登山器具一式	△	△	△	△
	バスケット担架	△	△	△	△
その他の救助用器具	投光器一式	○	○	○	○
	携帯投光機	○	○	○	○
	携帯拡声器	○	○	○	○
	携帯無線機	○	○	○	○
	応急処置用セット	○	○	○	○
	車両異動器具	○	○	○	○
	その他の携帯救助用具	○	○	○	○

別表2(特別・高度・特別高度救助隊 対象)

排除器具	マット型空気ジャッキ一式	△	○	○	○
	大型油圧スプレッダー	△	○	○	○
	救助用支柱器具	△	△	△	△
	チェーンブロック	△	△	△	△
切断器具	空気鋸	△	○	○	○
	大型油圧切断機	△	○	○	○
	空気切断機	△	○	○	○
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	△	△	△	△
器具 破壊用	削岩機	△	○	○	○
	ハンマドリル	△	○	○	○
器具 呼吸保護用	酸素呼吸器	△	○	○	○
	簡易呼吸器	△	○	○	○
	防塵マスク	△	○	○	○
	送排風機	△	○	○	○
	エアラインマスク	△	△	△	△
器具 検知測定用	耐電衣	△	○	○	○
	耐電ズボン	△	○	○	○
	耐電長靴	△	○	○	○
	特殊ヘルメット	△	△	△	△
救助用器具	緩降機	△	○	○	○
	ロープ登降機	△	○	○	○
	救助用降下機	△	△	△	△
	発電機	△	○	○	○

別表3(高度・特別高度救助隊 対象)

高度救助用器具	画像探索機	△	△	○	○
	地中音響探知機	△	△	○	○
	熱画像直視装置	△	△	○	○
	夜間用暗視装置	△	△	○	○
	地震警報器	△	△	○	○
	電磁波探査装置	△	△	△	○
	水中探査装置耐熱服	△	△	△	○
	検知型遠隔探査装置	△	△	△	△

凡例	
○	必ず整備
△	地域の実情により整備
△	整備義務対象外(自主整備は可能)

- 「一般」 救助隊
- 「特別」 特別救助隊
- 「高度」 高度救助隊
- 「特高」 特別高度救助隊